



ミズノ株式会社

第112期（2025年3月期）

決算説明資料

2025年5月13日

- ・この説明資料には、2025年5月13日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
- ・世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。



- ✓ 売上高、各区分利益がいずれも過去最高
- ✓ 営業利益率、経常利益率が過去最高
- ✓ グローバルでサッカーとインドアスポーツが、国内でワークビジネスが好調
- ✓ 適切な価格設定や在庫効率の向上により、売上総利益率が改善

売上高
利益

過去最高

売上高

2,403億円

前期比 +4.6%

過去最高

営業利益

208億円

前期比 +20.2%

過去最高

経常利益

214億円

前期比 +10.7%

過去最高

当期純利益

152億円

前期比 +6.5%

利益率

売上総利益率

41.0%

前期比 +1.4ポイント

過去最高

営業利益率

8.6%

前期比 +1.1ポイント

過去最高

経常利益率

8.9%

前期比 +0.5ポイント

過去最高

当期純利益率

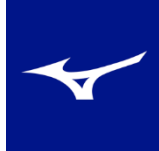
6.3%

前期比 +0.1ポイント

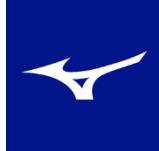


(億円)	FY23	FY24	増減額	増減(%)	業績予想	達成率(%)
売上高	2,297	2,403	106	4.6%	2,500	96.1
売上総利益	909	986	77	8.4%		
売上総利益率	39.6	41.0%	1.4pt			
人件費	300	312	12	3.8%		
広告宣伝費	111	119	8	6.7%		
販管費	737	778	41	5.6%		
販管費率	32.1%	32.4%	0.3pt			
営業利益	173	208	35	20.2%	190	109.4
営業利益率	7.5%	8.6%	1.1pt			
経常利益	193	214	21	10.7%	205	104.2
経常利益率	8.4%	8.9%	0.5pt			
当期純利益	143	152	9	6.5%	150	101.6
当期純利益率	6.2%	6.3%	0.1Pt			
為替レート	USD	140.55円	151.44円			
	GBP	181.39円	195.75円			
	EUR(欧州支店)	156.80円	164.90円			
	EUR(子会社)	152.27円	163.79円			

※ 2025年1月1日付で、在外支店を子会社化する事業再編を行いました。
 これにより、当連結会計年度における当該支店の会計期間は9か月となります。
 (前期実績で売上高57億円、営業利益3億円相当の影響)
 ※人件費の項目は前年度までは給与手当・賞与のみの開示をしていましたが、
 本年度より福利厚生費等を含んだ人件費全体の開示へと変更しております



(億円)	FY23	FY24	対FY23 増減	対FY23 増減(%)
資産合計	2,062	2,185	123	6.0%
現金及び預金	320	324	4	1.4%
受取手形及び売掛金	488	507	19	3.9%
在庫	524	581	57	10.8%
有形・無形固定資産	436	459	23	5.3%
投資有価証券	95	96	1	0.9%
繰延税金資産	17	16	△1	△4.8%
負債合計	641	614	△27	△4.3%
短期有利子負債	11	59	48	445.4%
長期有利子負債	116	76	△40	△34.3%
純資産合計	1,421	1,571	150	10.6%



✓ 利益の拡大によりROAが向上

	FY23	FY24	前年比
総資産事業利益率 (ROA)	8.8%	10.0%	+1.2pt
自己資本利益率 (ROE)	10.8%	10.2%	△0.6pt
自己資本比率	68.6%	71.6%	+3.0pt
1株当たり利益 (EPS) *1	559.71	595.97	+36.26
1株当たり純資産額 (BPS)	5,531.81	6,112.30	+580.49

	FY23	FY24	前年比
株価収益率 (PER)	11.36	13.05	+1.69
株価純資産倍率 (PBR)	1.15	1.27	+0.12
基準株価 (各年度3月末日) *2	6,360	7,776	+1,416

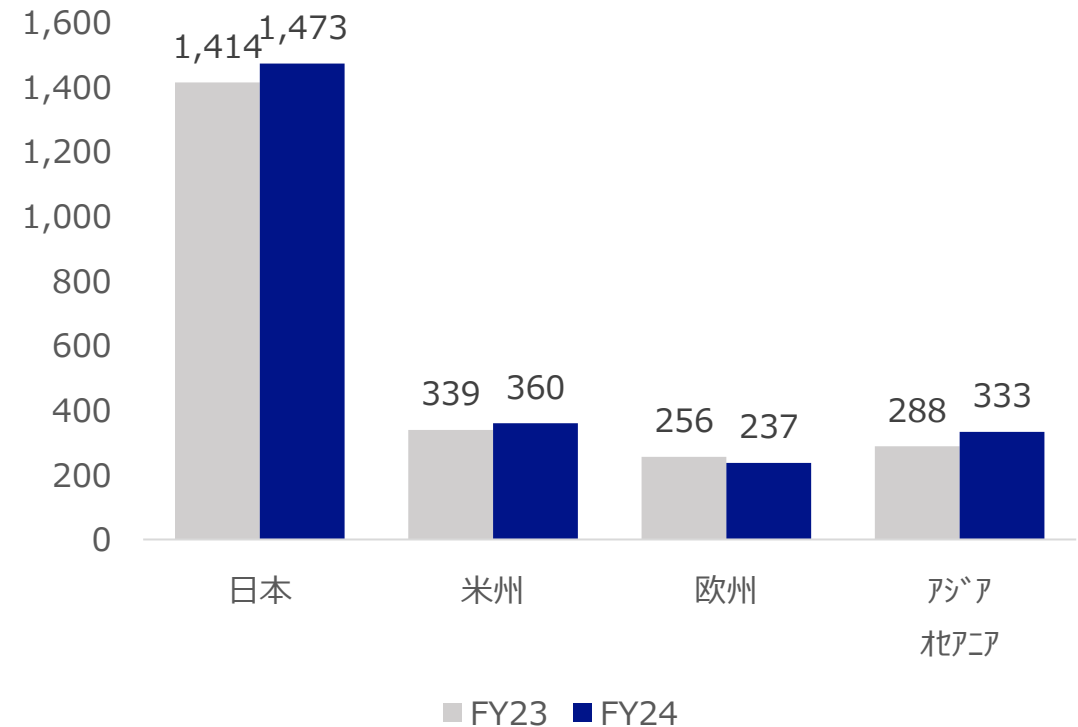
*1 1株当たり利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年3月31日現在の発行株式数（自己株式数を除く）を使用しています。

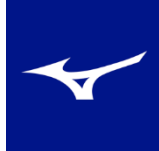
*2 2025年3月31日時点の基準株価については、株式分割後の株価2,592円を3分割前の価格に換算して使用しています



- ✓ 日本でフットボール、インドア、ワーク、スポーツスタイルシューズなどが好調
- ✓ 海外でフットボール、インドア等の競技スポーツ品、スポーツスタイルシューズが成長
- ✓ 欧州ではランニングシューズの在庫適正化や粗利益率改善に注力
- ✓ 海外売上比率 24年度 38.7% (23年度 38.4%)

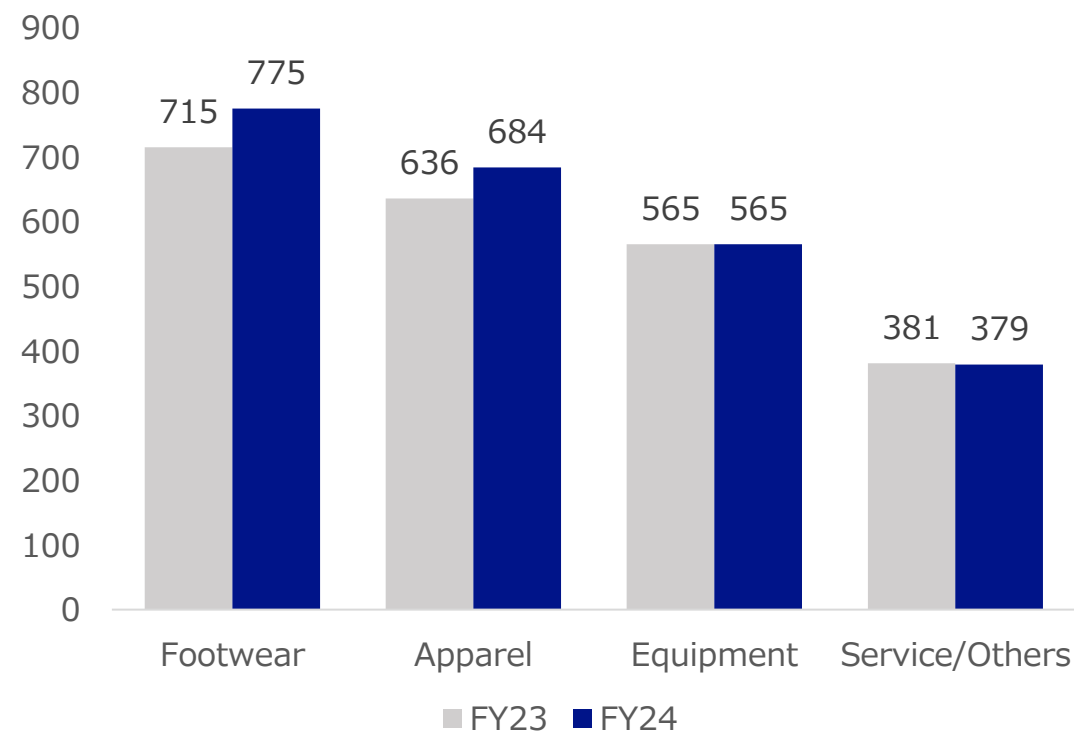
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
日本	1,414	1,473	59	4.2
米州	339	360	21	6.2
欧州	256	237	△19	△7.1
アジア・オセアニア	288	333	45	15.5
計	2,297	2,403	106	4.6

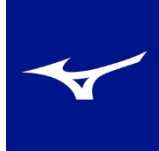




- ✓ フットボールシューズ、スポーツスタイルシューズ等が成長
- ✓ ワークビジネス、チームスポーツ等でアパレルが伸長
- ✓ ゴルフ品が最大マーケットの北米で売上規模を維持

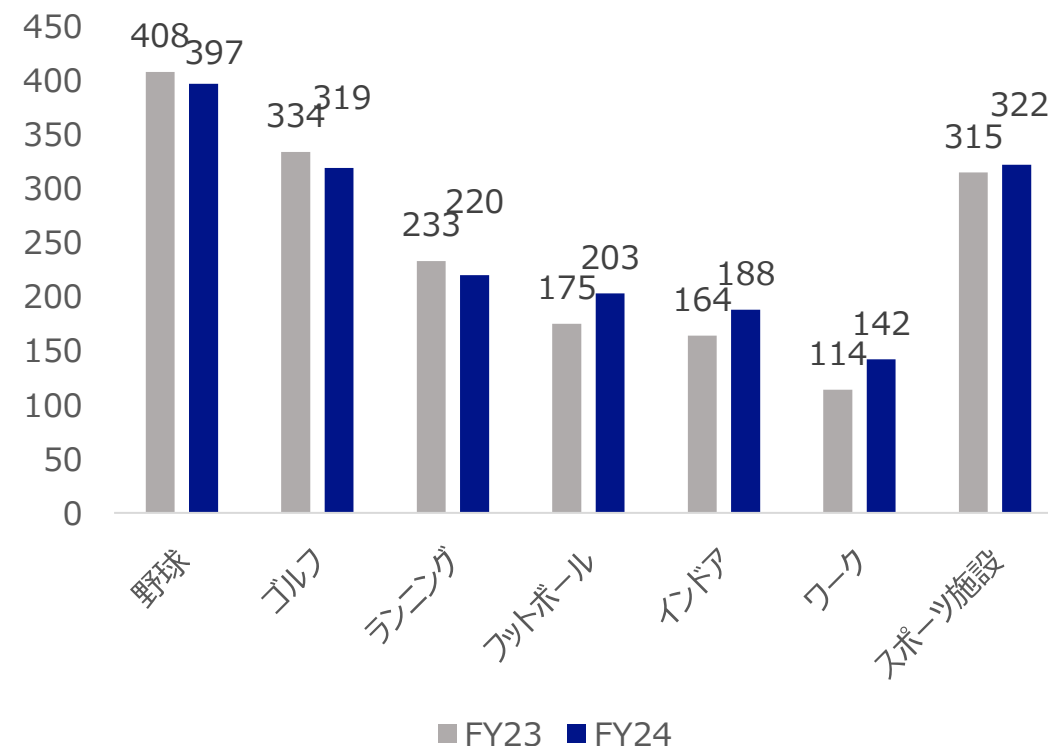
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
Footwear	715	775	60	8.3
Apparel	636	684	48	7.6
Equipment	565	565	0	0.1
Service/Others	381	379	△2	△0.4
計	2,297	2,403	106	4.6



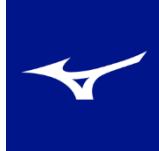


- ✓ フットボール、インドアなどの競技スポーツ品が好調
- ✓ ランニングは在庫適正化、収益性改善への取り組みを実施中
- ✓ 非スポーツ分野のワークが順調に成長
- ✓ 野球/ソフトは前年度の特需（世界大会記念品等）の反動減
- ✓ ゴルフ市場の拡大が一服

(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
野球/ソフト	408	397	△11	△2.9
ゴルフ	334	319	△15	△4.3
ランニング	233	220	△13	△5.4
フットボール	175	203	28	15.9
インドア *1	164	188	24	14.7
ワーク	114	142	28	24.1
スポーツ施設	315	322	7	2.1

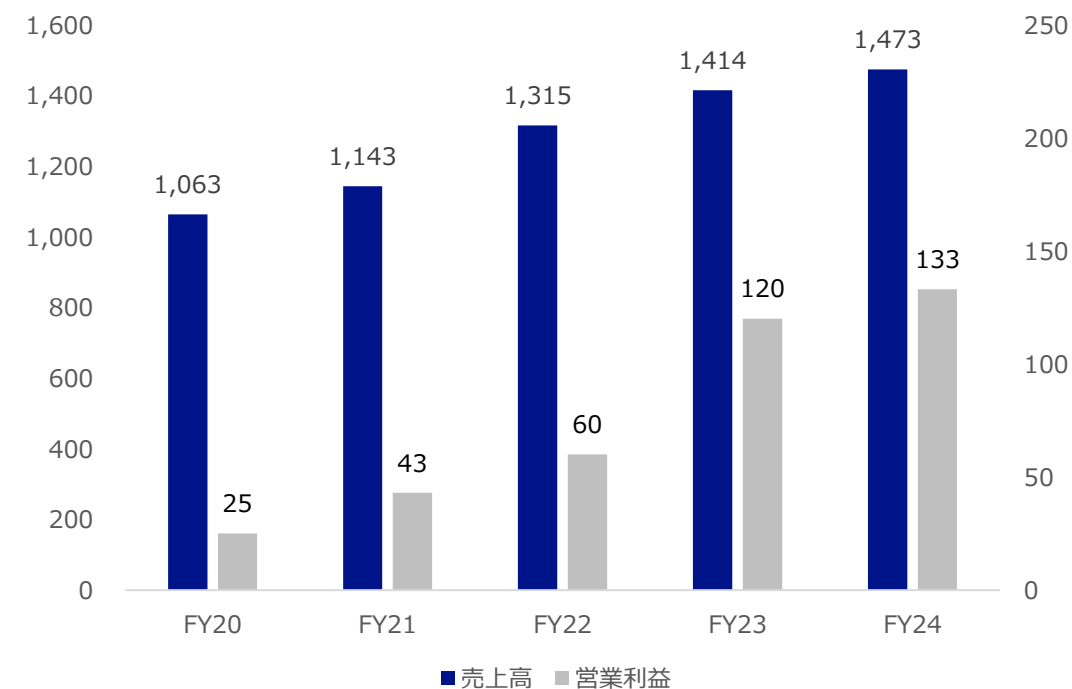


*1 インドアカテゴリーには、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール等を含みます。



- ✓ 売上、営業利益が過去最高
- ✓ バレーボール、ラケットスポーツ等の競技スポーツ品が好調
- ✓ フットボール品の売上が引き続き高水準
- ✓ ワークが計画を大幅に超える成長
- ✓ スポーツスタイルシューズが直販チャンネルを中心に売上拡大

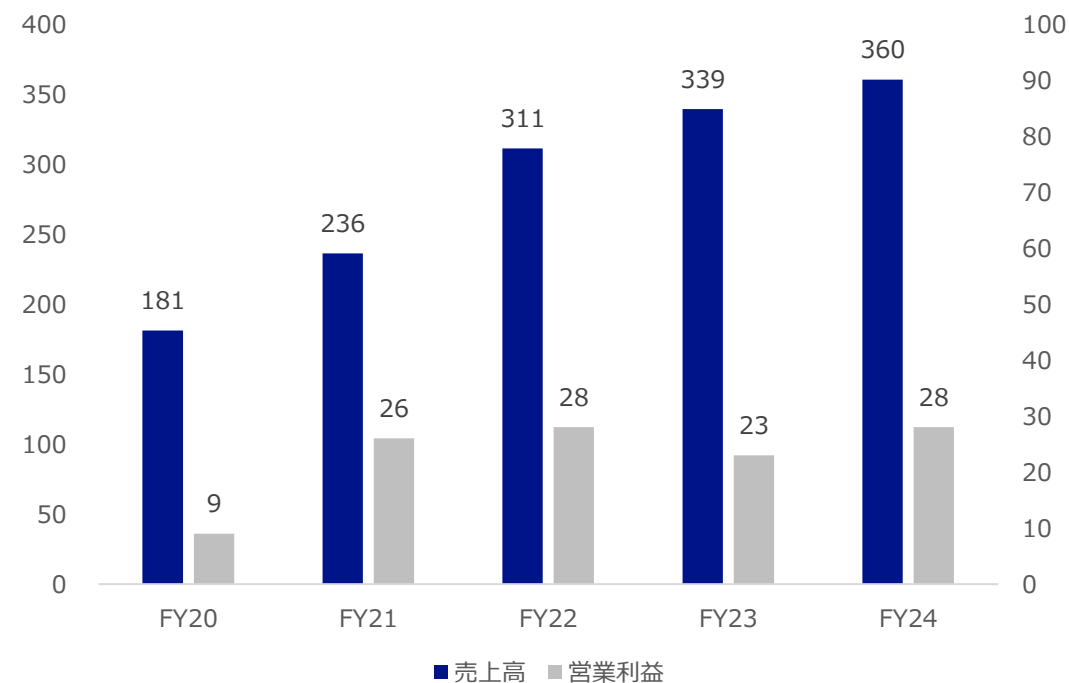
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
Footwear	338	379	41	12.2
Apparel	469	488	19	4.2
Equipment	232	229	△3	△1.5
Service/Others	375	377	2	0.4
計	1,414	1,473	59	4.2

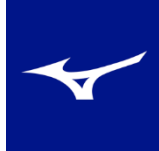




- ✓ 売上が過去最高
- ✓ ゴルフ品の販売が高水準を維持
- ✓ 在庫水準の適正化が進み、収益性が改善

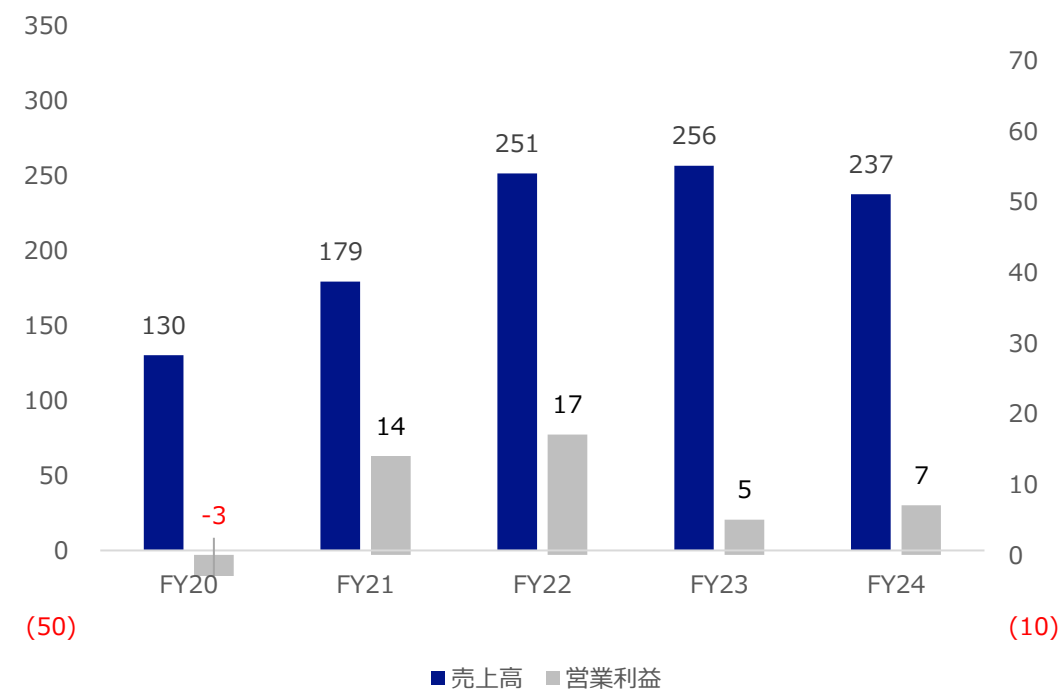
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
Footwear	80	87	7	8.5
Apparel	55	60	5	9.1
Equipment	204	213	9	4.5
Service/Others	-	-	-	-
計	339	360	21	6.2

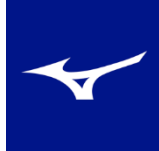




- ✓ 減収ながら売上総利益率が改善し増益
- ✓ フットボールやインドアスポーツが好調
- ✓ スポーツスタイルシューズの販売が伸長
- ✓ ランニングシューズは売上が減少するも収益性が改善

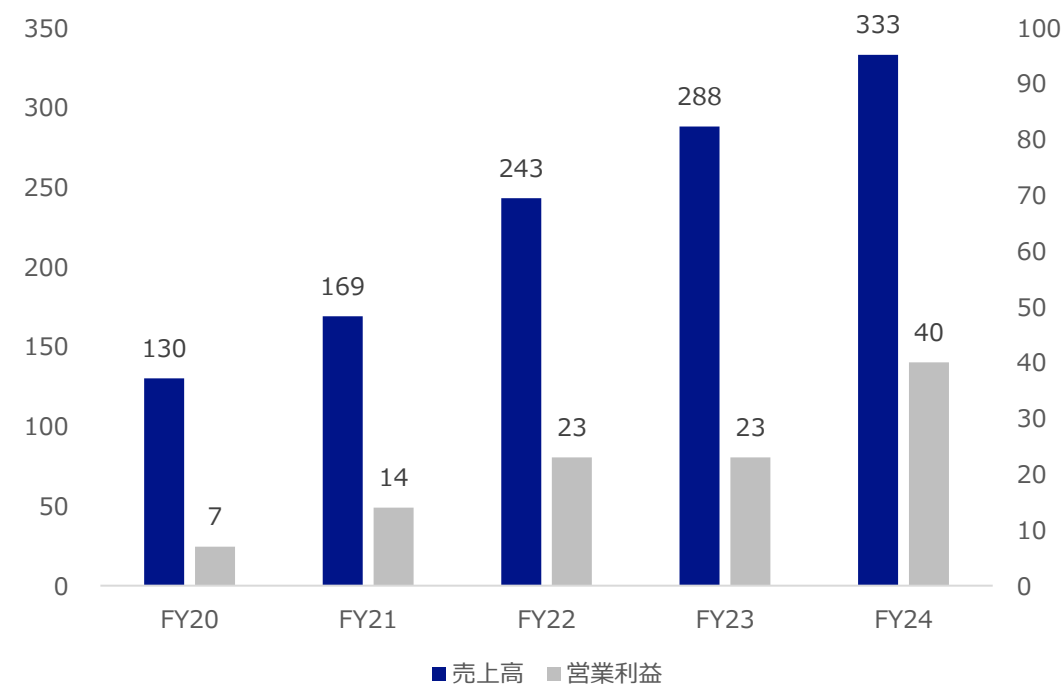
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
Footwear	172	155	△17	△10.2
Apparel	45	50	5	11.2
Equipment	39	33	△6	△14.6
Service/Others	-	-	-	-
計	256	237	△19	△7.1

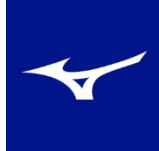




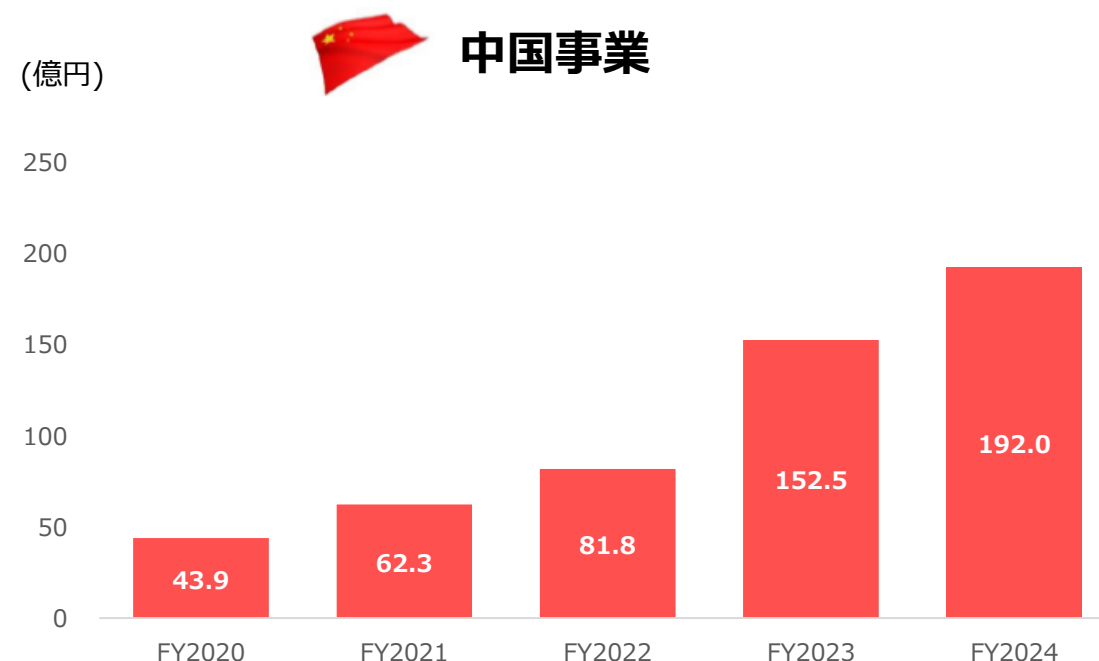
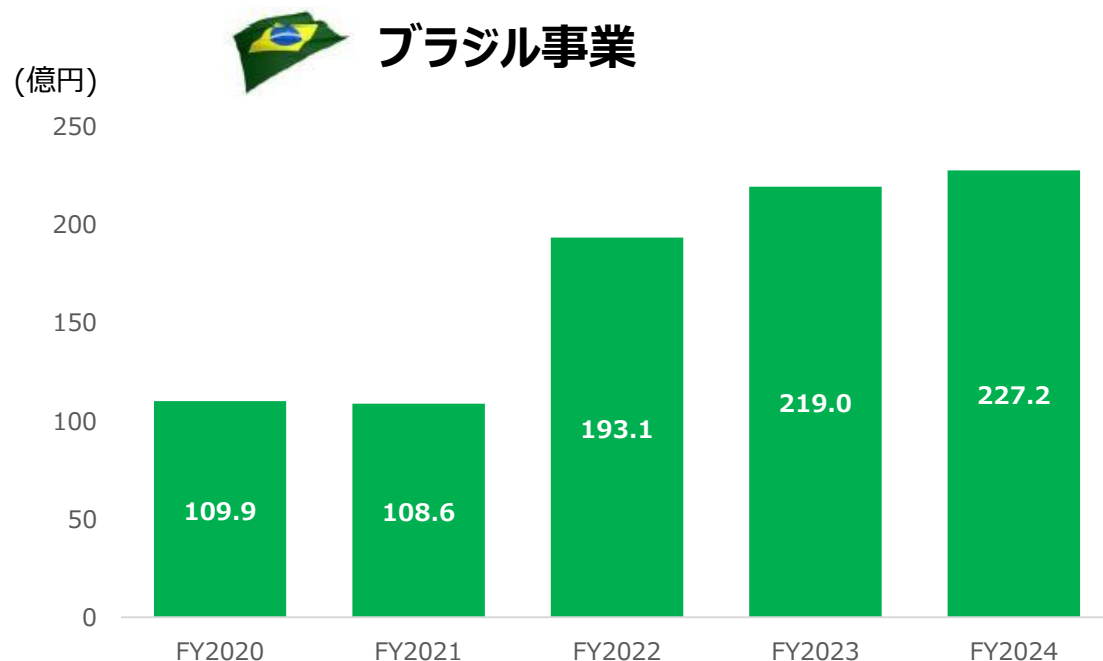
- ✓ 売上、営業利益が過去最高
- ✓ 韓国、東南アジアでフットボールが好調
- ✓ バドミントン等のラケットスポーツやバレーボール等、インドアスポーツ品の販売が拡大
- ✓ スポーツスタイルシューズの販売が増加

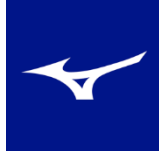
(億円)	FY23	FY24	増減	増減率 (%)
Footwear	125	154	29	23.1
Apparel	68	87	19	27.2
Equipment	90	90	0	0.2
Service/Others	5	2	△3	△59.0
計	288	333	45	15.5



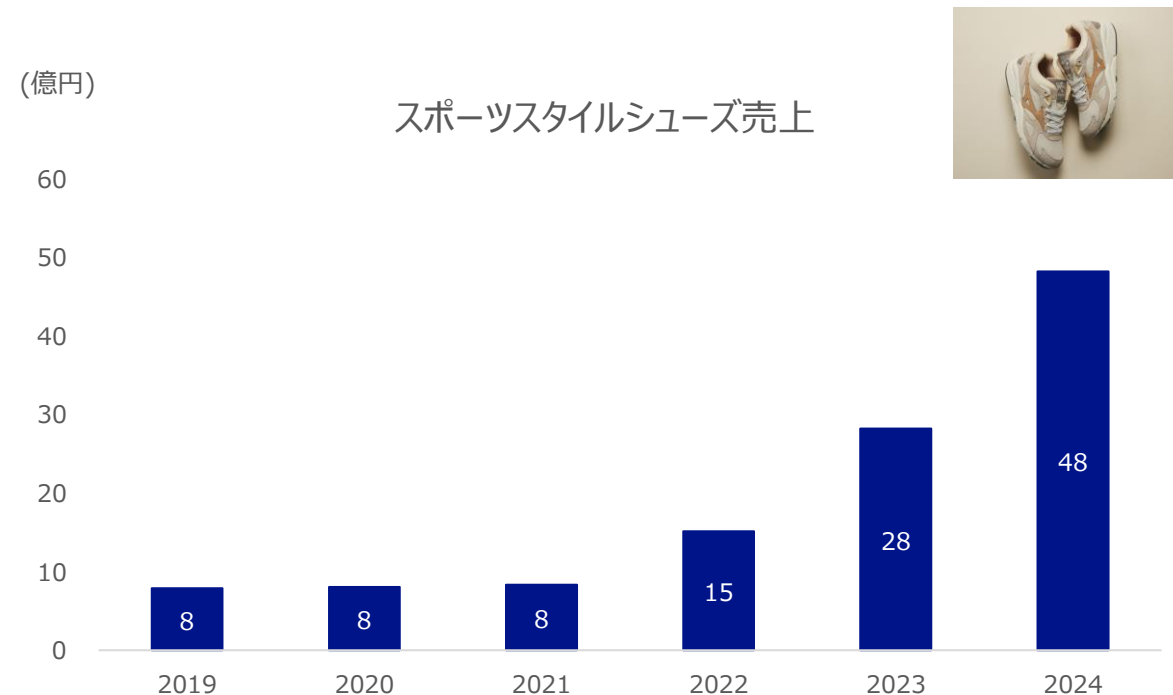
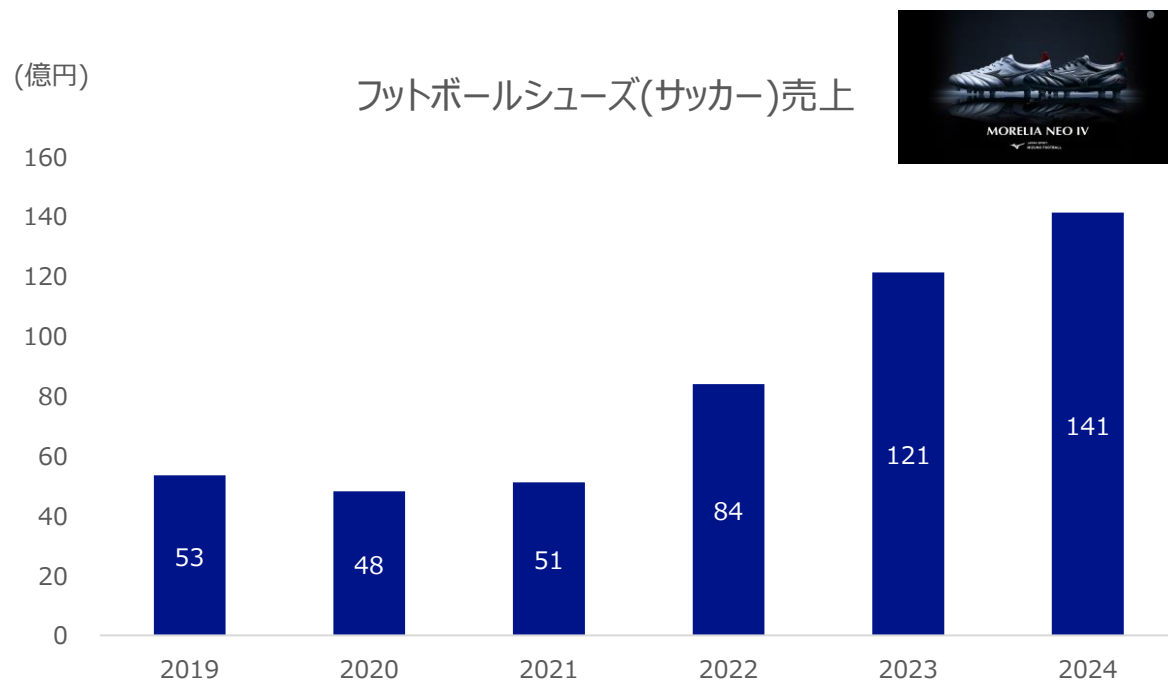


- ✓ ブラジル、中国の両国は、市場のニーズにより早く的確に応えるため
現地有力企業へ販売権を付与しロイヤリティを得ている
- ✓ ブラジルではフットウェアを中心に事業を展開
- ✓ 中国では、2019年に商品カテゴリを絞って現地企業へ販売権を付与し順調に成長





- ✓ グローバルでの注力カテゴリーであるフットボールシューズとスポーツスタイルシューズが順調に成長
- ✓ フットボールは国内での高水準な売上加え、欧州、東南アジアを中心に海外でも二桁成長
- ✓ スポーツスタイルシューズが国内、欧州、アジア・オセアニアを中心に成長





2026年3月期 連結業績予想

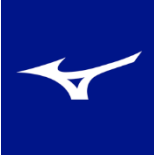
(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
260,000	22,500	23,000	16,500

2026年3月期 配当予想

	第2四半期末	期末	合計
2026年3月期 (予想)	25円	25円	50円
2025年3月期	60円	90円	150円

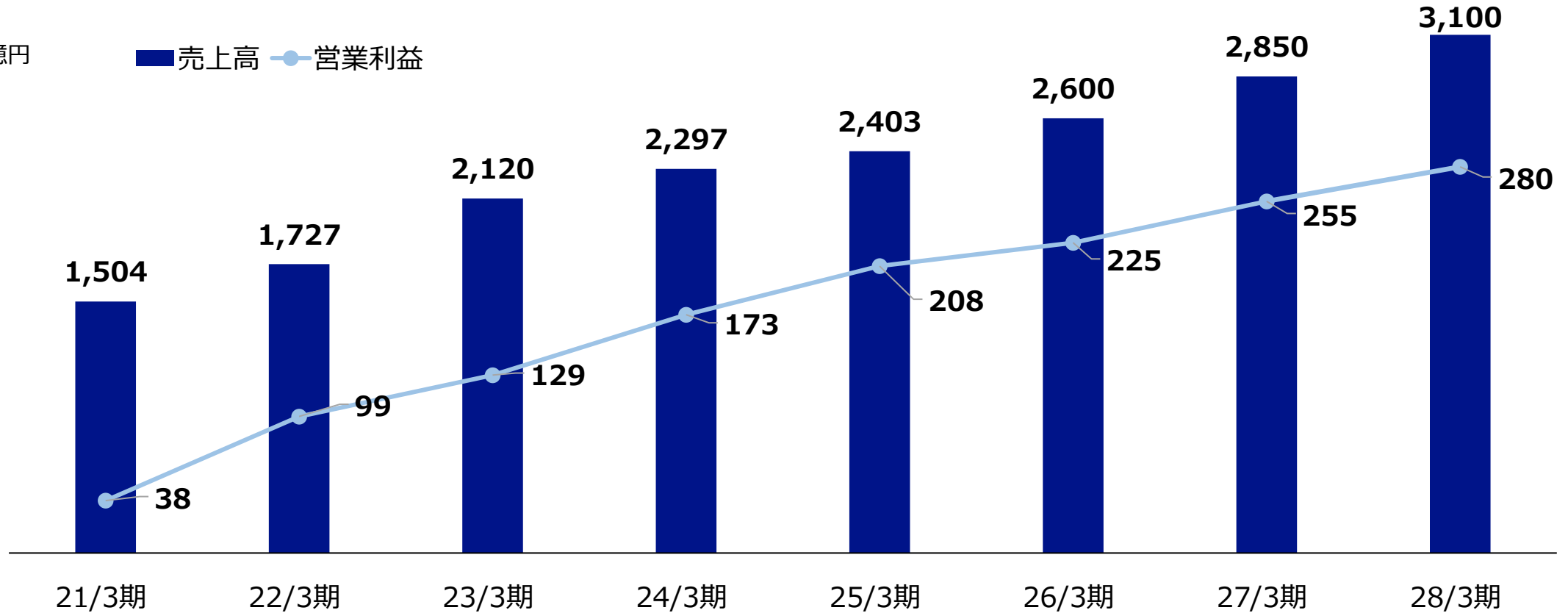
(注) 2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。なお、2026年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金につきましては、当該株式分割後の影響を考慮して記載しております。



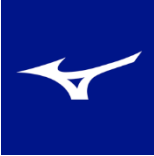
28/3期 目標：売上高3,100億円 営業利益280億円

単位：億円

■売上高 ●営業利益

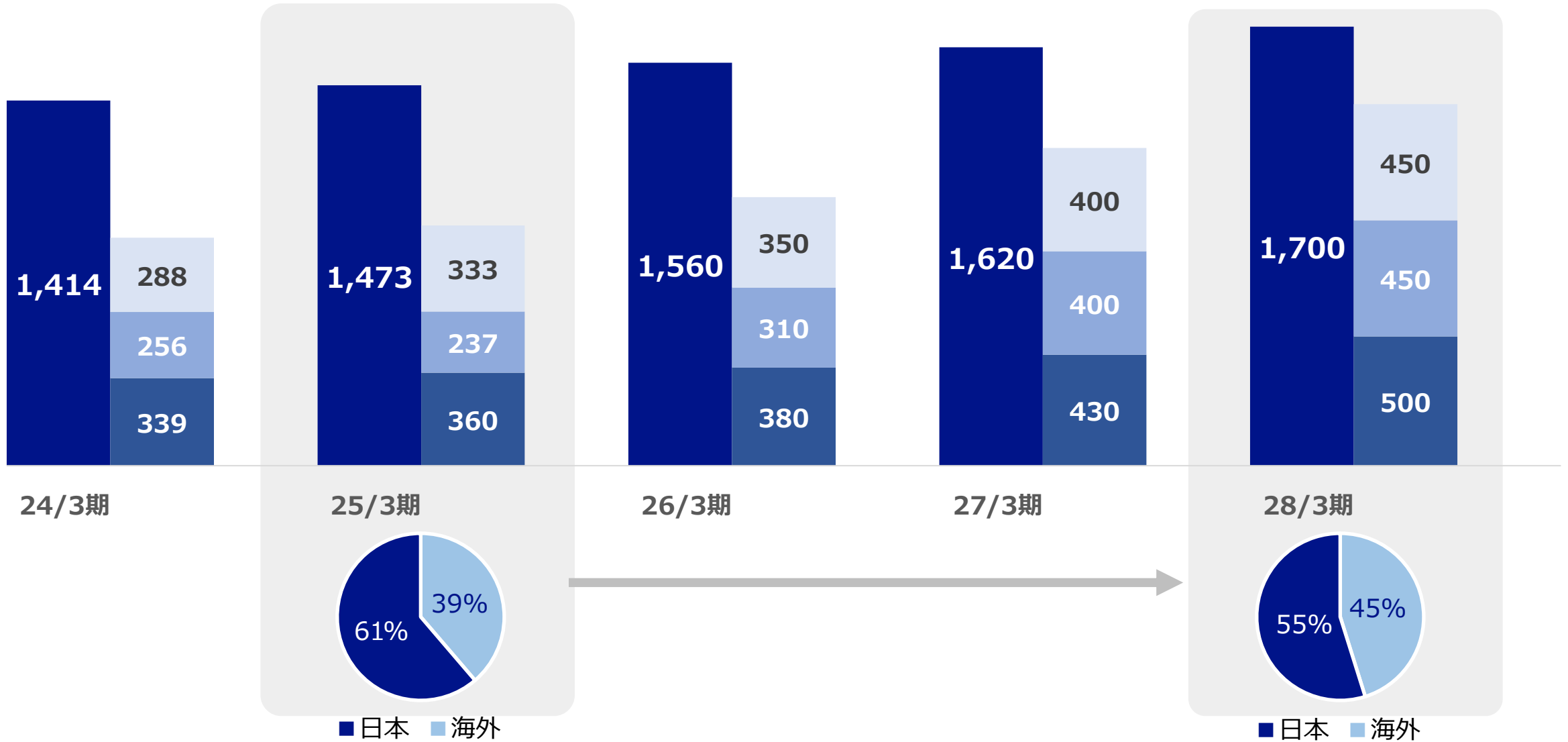


Rate	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期~
USD	106.66	109.86	130.78	140.55	151.44	145
EUR	122.20	131.05	141.26	156.80	163.79	159



ゴルフ・ランニングに加え、好調なサッカーをグローバルでさらに成長させ、28年3月期の海外売上比率45%を目指す

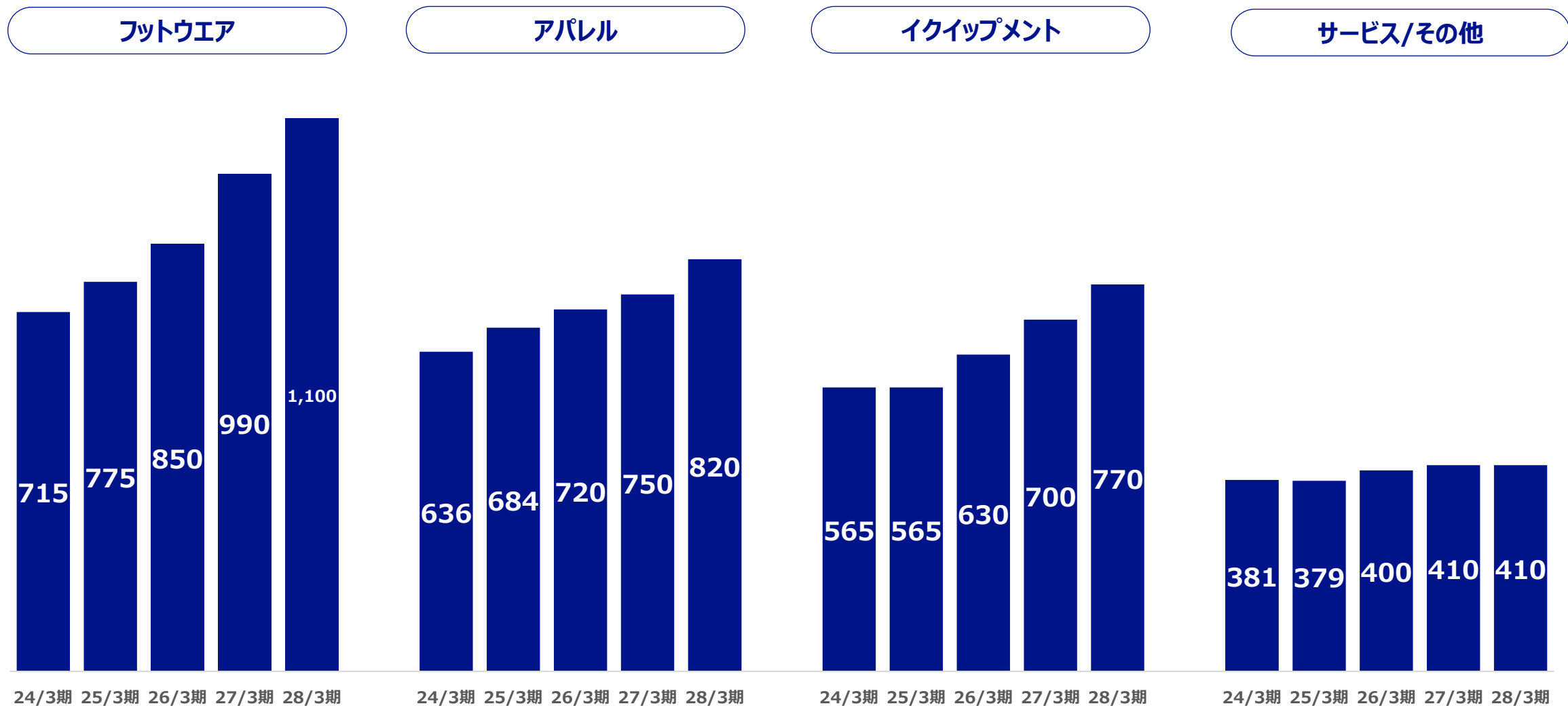
億円 ■日本 ■アジア・オセアニア ■欧州 ■北米





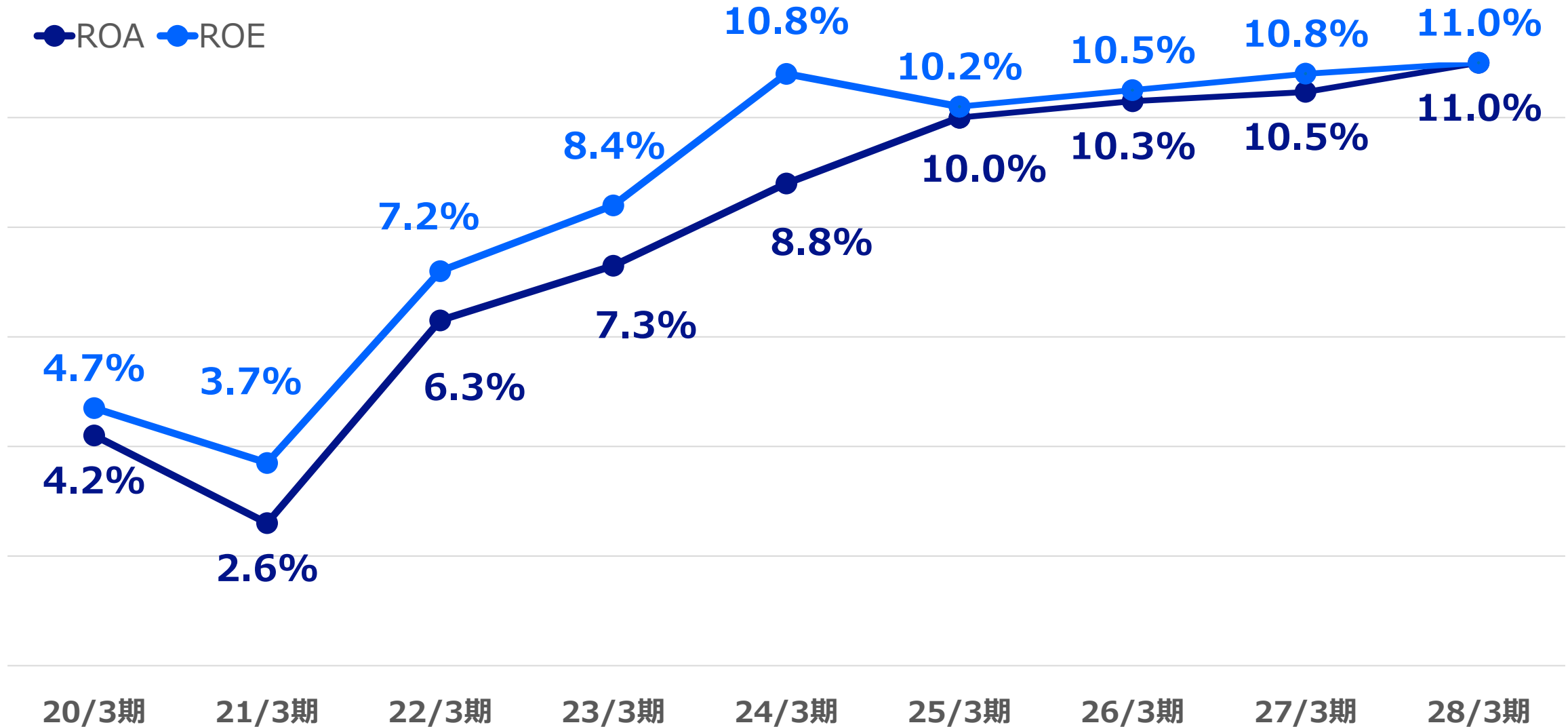
フットウェア、アパレル、イクイップメントのバランスがとれたポートフォリオは当社の強み。引き続き各プロダクトともに成長させる。また、スポーツを軸にした「コト」ビジネスやスポーツテック分野等の新規事業にも挑戦していく。

億円





収益力をさらに引き上げ、効率性も安定的に向上させることで、2028年3月期ROA・ROEともに11%台を目指す





マーケティングトピックス



イメージモデル 清水希容氏



- ・メジャーリーガー鈴木誠也選手とブランドアンバサダー契約締結。
- ・グラブマイスター岸本「卓越した技能者」に認定。日米野球殿堂入りイチロー氏が認める技術。
- ・国内シューズ好調。軽量、クッション性などの製品力浸透。春の高校全国大会で着用シェア1位。
- ・球速がUPするグラブ『SPEEDREVO GLOVE』発売。 ※球速0.34km/hアップ



BEN GRIFFIN

CHAMPION

ZURICH CLASSIC OF NEW ORLEANS



MARCO
PENGE

2025 HAINAN CLASSIC
C H A M P I O N



平田 憲聖 プロ

Mizuno Pro S-3 アイアン



Mizuno Research and
Performance Center

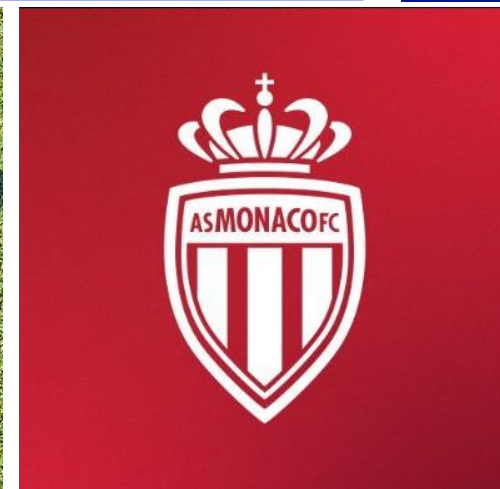
- ・PGAツアー チューリッヒクラシックofニューオーリンズでベングリフィンプロ優勝。欧州ツアー 海南クラシックでマルコペンジプロ優勝。ミズノクラブ使用選手LPGAツアーメジャー戦シェブロン選手権優勝。平田憲聖プロ24年国内賞金ランク2位。米下部ツアー参戦。
- ・世界特許製法の軟鉄鍛造アイアン『Mizuno Pro S-3』グローバルローンチ。
- ・米アトランタ州にクラブ開発テストセンター『Mizuno Research and Performance Center』4月開設。



ジョアン・フェリックス選手



MIZUNO α II



ASモナコ



セレッソ大阪



S.S.ラツィオ



VfLボーフム



アウクスブルク

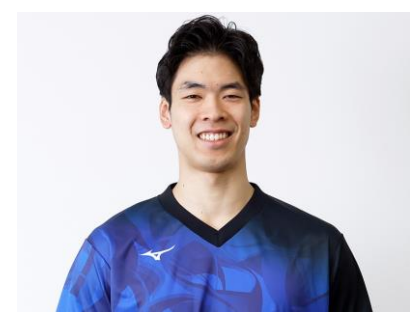


ハンザ・ロストック

- ・ポルトガル代表 ジョアン・フェリックス選手(ACミラン)とアンバサダー契約。
- ・『MIZUNO α II』グローバルローンチ。ジョアン・フェリックス選手が使用。海外戦略好調。
- ・仏1部リーグASモナコがミズノブランドユニフォームを着用。セレッソ大阪と新規契約。クラブチーム活用でブランドロイヤリティ向上。
- ・スパイクがジュニア、中高部活生、大学生を中心に高い支持。各種全国大会で着用シェア1位。



インドア種目事業



宮浦健人選手



左:熊谷翔選手 右:西大輝選手



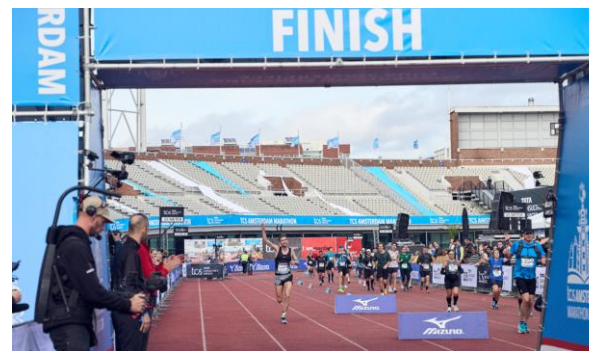
- ・バレーボール: Volleyball World契約活用したSNSプロモーション奏功。2年間でフォロワー数が約2倍に。のべ14カ国の国際大会でブース出展。ユーザーコンタクト機会増。男子日本代表宮浦健人選手とアンバサダー契約締結。
- ・バドミントン: 国内海外ともシューズ、用具好調。グラスルーツ活動、SNS施策で商品力浸透。男子ダブルス日本代表の熊谷翔選手、西大輝選手とアンバサダー契約締結。新たに設立した現地法人東南アジアで販売強化。



Mizuno Neo Zen



Mizuno Neo Vista



K.アレム選手

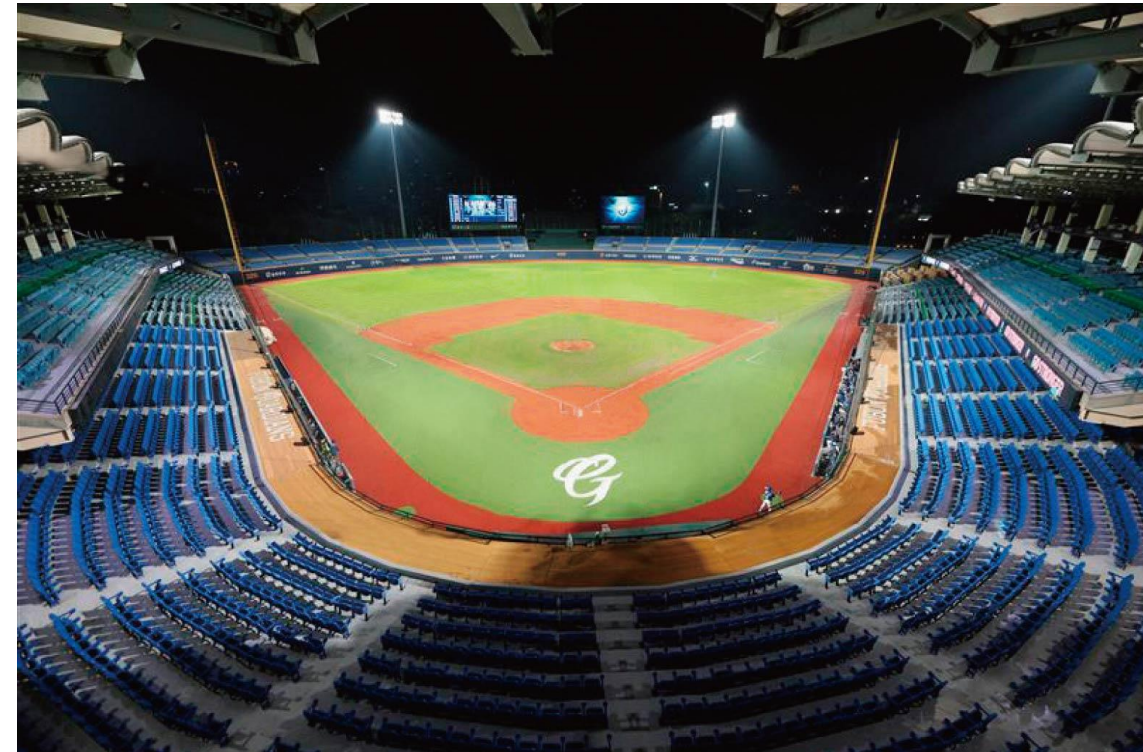
- 新シリーズ『Mizuno Neo Vista』、『Mizuno Neo Zen』グローバルローンチ。目標を上回る販売数。高反発素材『ミズノエナジーネクスト』と、独自のソール構造によるスムーズなランニング体験が高評価。
- アムステルダムマラソンや大阪マラソンでのランニングインフルエンサー活用。25'大阪マラソン女子3位 K.アレム選手他海外有カランナーとの契約などによりグローバルでの認知度拡大を狙う。



- ・スポーツスタイルシューズ高成長を維持。 京都四条、名古屋PARCOなどに店舗オープンし、インバウンド、若年層女性をターゲットに話題創出。
- ・『MIZUNO SLEEP』堅調。新素材テックフィルブレスサーモ掛け布団、軽量薄型マットレスなど睡眠関連品を販売。40名超のアスリートによるSNSプロモーション実施。



日本郵便様集配用かばん（大型）



新莊棒球场

- ・日本郵便様集配用かばん（大型）に採用。
- ・ランニングシューズのような軽さ、高耐久性のワークシューズ発売。開発者着用しフルマラソン完走（3時間29分）高性能を証明。
- ・ワークビジネス事業高成長を継続。
- ・台湾プロ野球の本拠地 新莊棒球场(シンソウベースボールスタジアム)ファールゾーンに人工芝『MS CRAFT BASEBALL TARF-V』採用。性能と環境負荷低減で国内外での採用拡大へ。



サステナビリティへの取組



アテンダントユニフォーム

ポンチョ

スタッフユニフォーム

Mizuno Running JP @MizunoRunningJP

＼そのTシャツ捨てないで！／

2/23-24 大阪マラソンEXPOのMIZUNOブースに回収ボックスが設置されます。
みなさんの不要になった下着製品をお持ちください。

対象：ミズノ製品、ポリエステル100%素材となります。

お待ちしております 🍀

#ミズノ
#ランニング
#RUNNING
#マラソン #ジョギング

＼そのTシャツ捨てないで！／

2/23-24 大阪マラソンEXPO MIZUNO ブースの回収BOXに、不要になったアパレル製品をお持ちください。ミズノはこれを資源として活用するリサイクル活動を推進しています。

対象 **ミズノ製品で [ポリエステル100%素材]の商品**

※濡れたもの、汚れたものはリサイクルできませんので対象外とさせていただきます。
※本取り組みの活動情報は毎日ミズノサイトにて公開予定です。

年報600 | 2024年2月19日 | 1,384 件のいいね



- ・大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」アテンダント、スタッフのユニフォーム提供。多様性を尊重し、1人ひとり着こなしを自由にアレンジできる仕様に。
- ・大阪マラソン2025で不要なTシャツ、ポンチョリサイクル。告知 → 回収 → 仕分け → リサイクル実施。ランナー向け寒さ対策のリサイクル素材ポンチョ販売。

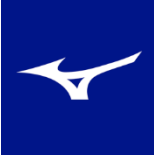


ブカツ・サポート・ コンソーシアム



北海道上川町 Baseball 5

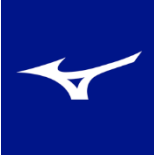
- ・部活動の地域連携・地域展開に関する課題解決・解消を目的とする『ブカツ・サポート・コンソーシアム』に参画。スポーツ用品提供、契約アスリートによるクリニックなどで貢献へ。
- ・自治体が抱える課題をスポーツのチカラで解決。 少子高齢社会に適した運動の提案で地域活性化を推進。



未来の可能性を拓ける、人間拡張技術の研究開発 (イノベーションセンター “ミズノエンジン”)



- ・スポーツ業界初、3Dプリンターで個人専用一体ソールを設計・製造したパーソナルフィッティングシューズ。
- ・人間のさらなる能力を引き出す人工筋肉の研究。
- ・未来の移動手段を見据えた研究。NEDO先導研究プログラムとしてJAXA等と共同研究により、ウェアラブル飛行装置用ギア/ウェアの創造・製作・計測を通して新たなフィット感，姿勢制御などの知見獲得を目指す。



26年冬季世界大会での活躍に期待



小林陵侷選手



スキージャンプ、コンバインド、クロスカントリー日本代表



スケート日本代表

- ・世界で活躍するプロスキージャンパー小林陵侷選手とブランドアンバサダー契約。
- ・全日本スキー連盟とオフィシャルウェアサプライヤー契約継続。スキージャンプ、コンバインド、クロスカントリーの日本代表サポート。
- ・日本スケート連盟とのオフィシャルサプライヤー契約継続。スケート日本代表をサポート。